

かんきょう四季

令和6年度版

第40号 2025年4月



撮影者：fptomaさん

相模原の環境をよくする会

ごあいさつ

相模原の環境をよくする会
会長 竹内 昌夫
(三菱重工業株式会社)
(相模原製作所)



春の訪れと共に、会員の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

令和7年4月から会長を務めさせていただきます三菱重工業株式会社 相模原製作所の竹内と申します。これから宜しくお願い致します。

世界における環境への関心及び対応についてですが、一部では停滞しているところもございますが、世界的には環境問題への関心は一層、高まっております。気候変動や生物多様性の減少、海洋汚染などの課題は、国境を越えて私たちの生活に影響を与えております。また、ご存じの通り、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが各国で進められており、企業や市民もその流れに参加しています。日本でも、政府が2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言し、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進、持続可能な交通手段の普及など、さまざまな施策が講じられています。

その様な中で、相模原市においてもリニア中央新幹線開通や相模補給廠の跡地利用を核とした新たな街づくり計画が動き始めており、市民の方々の環境に対する関心が今まで以上に高まっていると感じております。

この様な背景もあって、相模原市の環境イベントについて、昨年度は4月のかんきょうフェアに約3,000名、6月のさがみはら環境まつりに約4,000名が参加するなど、活発な活動ができました。これも関係者の皆さまのご協力によるものであり、心より感謝申し上げます。

私たち相模原の環境をよくする会は、今年創立40周年を迎えました。これまでの活動の成果は地域の皆さまや関係機関の温かい支援のおかげです。今後とも、地域の皆さまと共に環境意識を高める努力を続けてまいります。

そして本年は、40周年を記念した式典や講演などのイベントが計画されております。どうぞ、引き続き、変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い致します。

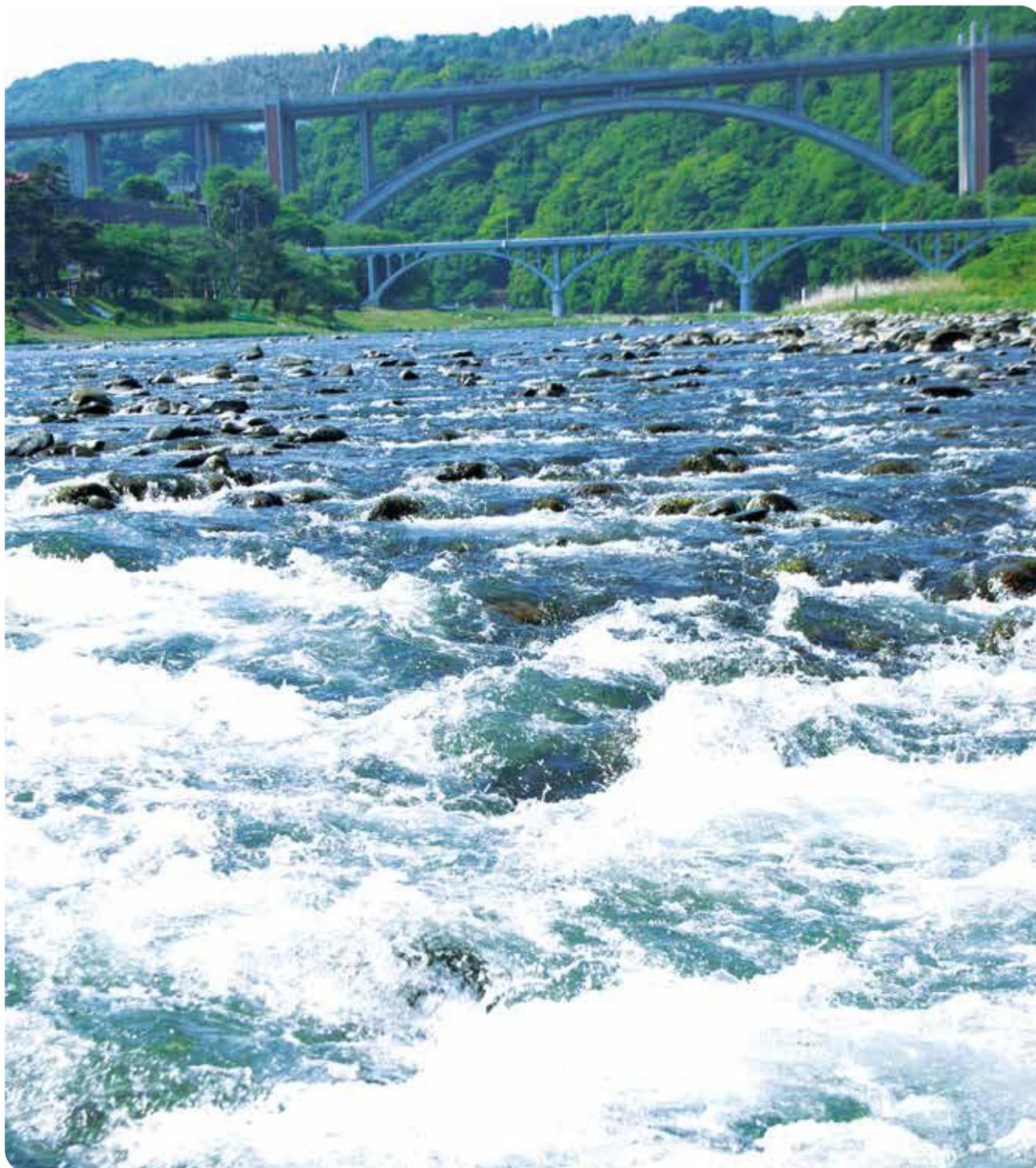
目 次

■ 相模原の環境をよくする会 活動概要	1
地球のために わたしたちが今、できること。	
■ 令和6年度活動報告	
全体活動	3
市民向け体験事業	5
調査事業	8
会員向け啓発事業	9
広報事業	10
その他の運営・活動記録	12
■ 調査結果報告	
河川生物相調査結果報告書	13
• 名 簿	
• 相模原の環境をよくする会会則	
• 相模原の環境をよくする会細則	
• 表彰に関する規定	
• 入会申込書・退会届・変更届 様式	



地球のために わたしたちが 今、できること。

相模原の環境をよくする会は、相模原市内の工場・事業所など、約100の企業・団体が集まり、気候変動や生物多様性の損失という地球的危機の克服に向けた取組を推進し、持続可能な社会の形成に寄与するための活動を続けている団体です。



撮影：写真家 高橋ざいち氏

■ 事業活動に活かせる環境情報を提供しています

会員の要望に基づいたテーマでの環境セミナーや環境保全・公害防止について先進的な取組を進めている事業所の視察など、会員の事業活動に役立つ活動を行っています。

■ 市民のみなさまと共に相模原の環境を見つめ直しています

<主な啓発事業>

- 自然観察ウォッチング
- 夏休み環境教室
- 市民まつりにおける「かんきょうフェア」
- さがみはら環境まつりへの参加
- 各種キャンペーン

<調査・研究事業>

- 市内6河川8地点における河川生物相調査
- 先進事例等視察
- 環境セミナー

会ホームページをぜひご覧ください

<https://www.yokusurukai.jp/>

当会の活動を広く紹介し、タイムリーな情報をお知らせするホームページを運営しています。



令和6年度活動報告

全体活動

■ 令和6年度通常総会

令和6年4月24日(水)、エコパークさがみはらにて、相模原市の小山ゼロカーボン・資源循環推進担当部長の御臨席のもと、令和6年度通常総会が開催されました。日本山村硝子(株)の中村氏の司会進行のもと、アイダエンジニアリング(株)の江連氏による開会宣言、日本山村硝子(株)の浅見会長の挨拶、来賓紹介へと続き、議事へ移行しました。

また、役員として多年にわたり本会の事業の振興に功労のあったアイダエンジニアリング(株)の江連氏に対し、浅見会長から、感謝状及び記念品の贈呈がありました。

委任状を含めた、83会員の出席のもと、三菱重工業(株)の金子氏が議長を務め、令和5年度の「事業報告」及び「収支決算報告」について峡の原工業団地協同組合の佐藤氏による監査報告が行われ、承認されました。

また、役員人事については、役員会案が承認され、新役員の三友プラントサービス(株)の小石川氏から挨拶がありました。最後に、令和6年度の「事業計画」及び「収支予算」が承認され、司会の中村氏の挨拶のもと閉会しました。

開催日：令和6年4月24日(水) 会場：エコパークさがみはら 出席者：83会員(委任状込)

■ 第20回 さがみはら環境まつり

令和6年6月23日(日)に「第20回さがみはら環境まつり」が青山学院大学相模原キャンパスで開催されました。朝から雨というお祭りには残念な天気でしたが、到着するころには傘が必要ない程度に好転し、それが影響したか多くの方がいらっしゃいました。相模原の環境をよくする会のメンバーとして事務局2名と役員7名が再生ポリエチレンビーズとアイロンを使った工作をするというブースを運営しました。



準備を行う前には、朝降っていた雨も上がりましたがその影響もあり人出を心配していました。しかし入場開始からまもなく多くのお子様が友達同士、保護者や引率者と立ち寄られるといういい意味で予想が外れた状況となりました。想定以上の多くの子も達が持っている状態になったため急遽レイアウトの変更を行いました。皆様のご協力ですムーズに対応できました。

来られた子ども達は真剣に綺麗な色が着けられている再生ビーズを選び、蝶、熊、★などの様々な形状の型にこれも真剣に並べ、スタッフが成形するところをまだかまだかと待っていました。

当会と同じ部屋には青山学院大学の学生が運営している廃棄に関するTVゲームを行っていて、こちらも楽しく環境について勉強をしている姿がありました。他にも楽しみながら環境について勉強ができるよしもと環境スペシャルショーやキャラクターショーなどの様々な催し物が開催されていました。

39の出展団体や運営を協力していた模擬店、多くの後援によってにぎやかなさがみはら環境まつりとなりました。

ポンコツ市民ランナーである私は青山学院大学に入ることができることで少々高揚した気分で向かいました。しかし、お祭りの終盤には真剣にビーズを手にとって並べている子ども達を見て、これをきっかけに環境について考えるようになってもらえるだろうと思えるようになり、たくましくも思える姿を目に焼き付けて帰路につきました。

スリーエムジャパンイノベーション(株) 立川

開催日：令和6年6月23日(日) 会場：青山学院大学 相模原キャンパス 来場者：約4,000人
参加役員：東京ガス(株)、スリーエムジャパンイノベーション(株)、SWCC(株)、東プレ(株)、日産自動車(株)、日本板硝子(株)、三菱電機(株)

■ かんきょうフェア2024

市制施行70周年記念「第51回相模原市民桜まつり」が4月6日(土)、7日(日)に開催されました。今年の桜まつりはコロナ禍を経て現地で開催されるのは実に6年ぶりとなりました。また今年の桜の開花は、昨年よりも約2週間程遅く、3月29日に開花が宣言され、祭り当日は天候にも恵まれ約300本の桜が満開となり2日間で約53万人が来場し、過去最高の人出となりました。

当会では、協力役員11社33名、事務局9名の体制で「さがみはら地球温暖化対策協議会」「環境保全課」等と共に、エコパークさがみはらを会場に「かんきょうフェア2024」を開催し2日間で約3,000名にご来場いただきました。

各企業の出展ブースは、東京ガス(株)様が、津久井産の間伐材を使ったコースター工作及び環境パネルの展示、(株)ニコン様が、顕微鏡による自然観察、赤谷の森での自然保護活動の取り組み、東京電力パワーグリッド(株)様が、環境活動の取り組み等を行い、環境の大切さをアピールしました。昨年同様、来場者にはクイズラリーを行ってもらい、当会の会員企業等から提供のあったノベルティを入れたエコバッグを配布しました。

今後も環境をよくする会の一員として、自然資源の持続可能な利用や再生、生物多様性の保全、大気や水の浄化、エネルギーの効率的な利用等、環境の大切さをアピールできればと思っています。

「澄んだ水、あふれる緑、青い空、みんなで築こう相模原」

大和製罐(株) 二宮

実施日：令和6年4月6日(土)・7日(日) 場所：エコパークさがみはら 来場者：約3,000人
参加役員：日本山村硝子(株)、(株)ニコン、(株)オハラ、東京ガス(株)、東京電力パワーグリッド(株)、カヤバ(株)、大和製罐(株)、スリーエムジャパンイノベーション(株)、日産自動車(株)、峡の原工業団地協同組合、三菱電機(株)



市民向け体験事業

■ 夏休み環境教室

令和6年7月27日(土)、青野原オートキャンプ場にて、市民33名(うち小学生18名、保護者15名)と役員・事務局等の総勢55名によって「夏休み環境教室」が開催されました。前日の天気予報では曇のち午後から雨の予報で進行への影響が懸念されていましたが、当日の日中は良く晴れ、気温も36℃まで上がる陽気となりました。

私は自家用車でキャンプ場へ直接集合でしたので、一足先に現地入りし会場の準備をしながらバスで来る参加者の皆さんを待機していましたが、キャンプ場は前日から宿泊している方や当日到着した方が既に多く、各サイトからは楽しそうな声が聞こえてきていました。

バスから降りてきた楽しみで胸いっぱいの子も達を出迎え、簡単な開会式を終えた後、いよいよ夏休み環境教室がスタートしました。

まず最初はマスのつかみ取りです。いけすに放たれた数十匹のマスを子ども達だけで全て取っていくのですが、素早くひらりひらりと動くマスの泳ぎに翻弄され最初は中々捕まえられません。保護者の方々からも「こっちにいるよ!」「頑張れ!」という声援が発せられます。果敢につかみ取りをチャレンジしていく子ども達は徐々にコツを掴んでいき、遂に「捕まえた!」の声と歓声があちこちから響くようになりました。生きた魚の力強さに直に触れることができ、子ども達にとって一生の思い出に残る特別な体験となったことかと思えます。

続いて川の生物自然観察会です。子ども達は網とバケツを持ち、キャンプ場を流れる道志川に入り見つけた生物を採取していきます。この時間になると気温も非常に高くなってきていたので、涼やかな川の水が気持ちよく感じました。数十分程採取を行った後、川辺に集まり、生物講師の先生からヘビトンボやカジガエル等、捕まえた生物それぞれの解説がありました。「この生物がいるという事は、この川は非常に綺麗な川なんだ」「この綺麗な川をどうかこれからも守ってください」という先生のお話を、子ども達が真剣な顔で聞いていたのが印象的でした。

お昼ご飯として提供された鮎の塩焼きとかためしに舌鼓を打った後、午後からは竹トンボや箸、昆虫模型を手作りする竹細工教室が開かれました。子ども達は竹細工製作の先生から「ここをこういう風に削ってね」「ゆっくりね」等アドバイスをもらいながら、普段中々触る機会の無いナイフを片手に緊張しながらも皆楽しそうに作品作りに取り組んでいました。

今回の環境教室を通じて、子ども達は自然と深くふれあい、その魅力を存分に味わうことができたかと思えます。この経験から子ども達の心の中で自然への愛着が育まれ、将来の環境保護活動に繋がることを願っています。

東プレ(株) 高橋



実施日：令和6年7月27日(土)
講師：中道志川トラスト協会 他

会場：青野原オートキャンプ場 参加者：33人
参加役員：(株)ニコン、カヤバ(株)、東プレ(株)、日産自動車(株)

■ 自然観察ウォッチング「身近な植物の観察とプロに学ぶ写真教室」

前年に引き続き、写真家の高橋ぎいち氏を講師にお招きして植物観察会・写真教室を開催しました。

一般市民参加者は8名、講師・事務局・役員は6名、総勢14名で相模原北公園に繰り出して、各自が興味のある被写体を見つけては思い思いに撮影を楽しんでいました。

公園に行く前の座学では、写真とはその撮影者の主張したいことを表現するものだ、ということから始まり、デジカメの上手な撮影テクニックの説明があり、子どもを含めた全員が真剣に講義に聞き入っていました。幸い天候もすばらしく、晴天で雲一つない青空が広がっていたため公園での撮影はそれぞれがかなりの範囲に散らばって撮影をしているようでした。カラフルな花や木の実、紅葉の接写、犬の散歩風景、大樹の下から太陽を透かして見るような情景、池に浮かんでいるカモなど。本格的なカメラをお持ちの方は望遠レンズなども使用していました。

公園での撮影後は、参加者の撮った写真について講師による講評がありました。その中で、本人の一押し写真と講師が選んだ写真についての講評と撮影テクニックなどについての質疑応答がありました。活発な意見交換があり会場は白熱し、時間が足りなかったと言う参加者も多くみられました。

今回の写真教室は、暖冬でちょうど良い撮影日和となったと思います。静かな公園で太陽の光の中での短時間でしたがゆったりと撮影できたことで、“自然の大切さ”や“生きているありがたみ”を感じることができました。参加者の皆様も喜んでいる様子でしたので今後とも本活動を継続していく意義を感じました。

カヤバ(株) 鈴木



撮影者：EMIさん



撮影者：永田 宗也さん

実施日：令和6年11月30日(土) 会場：相模原北公園 参加者：8人
講師：写真家 高橋ぎいち氏 参加役員：(株)ニコン、カヤバ(株)

■ 自然観察ウォッチング「野鳥観察会」

令和7年2月22日（土）、市民を対象とした野鳥観察会が行われました。毎年人気の講習会だそうで今年も野鳥が好きな市民の皆様にお集まりいただきました。

毎年講師を務めて頂いております麻布大学野鳥研究部（やちょけん）の皆様からまず初めに事前講習を受けました。双眼鏡の使い方と「今回見られるかもしれない鳥たち」について資料を見ながら見た目の特徴や鳴き方の特徴など教えて頂きました。毎年双眼鏡の貸し出しをしてくださる企業様にも感謝です。

講義の後は実技演習スタート！4班に分かれ"やちょけん"の講師に説明を受けながら各コースを観察。お天気に恵まれた公園内は犬の散歩をされている方が沢山おられました。野鳥も逃げることもなく沢山観察することができました。私の班の皆さんは日頃から野鳥観察をされているようでとてもお詳しく、写真を撮ったりと楽しんでおられました。

双眼鏡に慣れない私は、肉眼で見つけた場所を特定するのが難しかったけれど、徐々に慣れてくると見つけられるようになり、かわいい姿を確認することができた時には喜びがあふれてきました。沈殿池では水辺にいるカモ達がいかにいろんな種類が共存しているんだとびっくりしました。

シジュウカラはネクタイのような模様があることからネクタイと呼ばれている、また他の野鳥にも愛称があるなど面白いお話を聞きながら観察できとても楽しかったです。

会の目的は、「市民を対象として、野鳥観察の基礎講習会及び県立相模原公園等での観察会を行い、自然環境への関心を深めるとともに、環境保全に対する意識の向上を図る」となっておりますが、私自身も今回二度目の参加ではありましたが、更に野鳥に興味がわき、自然界の生き物が安心して暮らせる環境をずっと続けていかなければならないと改めて思いました。そして、野鳥のことが分かるようになったらもっと楽しめようと思えました。

今回ご参加された皆様、毎年講師を引き受けてくださっている野鳥研究会の皆様ありがとうございました。

（株）オハラ 小松



実施日：令和7年2月22日（土） 会場：県立相模原公園、相模原沈殿池 他 参加者：22人
講師：麻布大学野鳥研究部（昭和37年に創設し、半世紀以上続いている伝統のある部活）
参加役員：（株）ニコン、（株）オハラ、日産自動車（株）、三菱電機（株）

調査事業

■ 河川生物相調査 5月

相模原の環境をよくする会では、相模原市内の河川に生息する生物の種類と個体数からその河川の汚濁状況を評価する「河川生物相調査」を30年以上にわたり毎年実施しています。

今年度1回目は、令和6年5月24日（金）役員8名、事務局4名 計12名、対象河川は境川3地点、鳩川、姥川、八瀬川、相模川、道保川の計8地点を3班に分かれて調査しました。

私は今回初めての参加で、調査前はフルイや網を川に入れるだけで、本当に水生生物が捕獲できるか半信半疑でした。実際には沢山の水生生物が掛かり、大変驚かされました。調査地点の中でも、流れが穏やかな場所、急な場所、石がゴロゴロしている場所、草が生い茂っている川岸など、同じ地点でも様々な環境の場所があり、ここにはどんな生物がいるのか、次第に楽しくなって行き、童心に返り調査を行うことができました。唯一、種類の判定と個体数の集計に苦戦させられました。

調査の結果、調査地点8カ所中、7カ所は α s「きれいな所」、1カ所は β m「ややきれいな所」となりました。

捕獲数の多かった優占種は、カゲロウとトビケラでした。その他にも、サワガニやヨコエビ等、きれいな所に生息するものも確認でき、先日、子どもと川沿いを歩いたときに感じた「川はきたない」のイメージが覆りました。子ども達の未来のためにも、きれいな環境を守っていかねばならない、またその大切さも伝えていかねばならないと思いました。

プライムデリカ(株) 高橋

実施日：令和6年5月24日（金） 場所：市内6河川8地点
参加役員：(株)ニコン、カヤバ(株)、プライムデリカ(株)、東プレ(株)、日産自動車(株)、三菱電機(株)

■ 河川生物相調査 10月

2024年10月11日（金）、今年度第2回目の河川生物相調査を3班、合計12名で実施しました。

この事業は毎年同じ時期に、同じ場所を調査することで河川の状況変化や生息する生物の種類・個体数を確認し水質階級を評価する事で環境変化を捉える事を目的とした活動になります。

調査は、境川3地点、姥川、八瀬川、鳩川、相模川、道保川の計8地点を3班にわかれて行いました。

前日の雨による水量増加の為、安全リスクからいくつかの調査地点で見送りとなりましたが、当日は気温も涼しく、過ごし易い陽気となり絶好の調査日和となりました。

調査前には川沿いのフェンスにバナーを掲げますが、その際、やや色褪せた「環境を良くする会」の環境美化の看板を見つけ、これまでの諸先輩方の活動の一環に触れることができ、感激しました。

調査では、長靴で河川へ入り、ザルや網を使って生物を探していると、普段通り過ぎていただけの河川の風景の美しさやエビやヤゴ、ヒル、アカムシ、ドンコなどの生物が暮らす、川の綺麗な様子も知ることができました。水質階級というものも初めて今回学び、生息生物による評価方法のユニークさにも感心しました。

今回の参加で反省すべき点は、指標となる生物を事前に把握できていなかったことです。2箇所目の調査からは意識して対象生物を採集する事ができました。中には顕微鏡でないと確認できない生物もいたようで、勉強になりました。地道な活動ではありますが、一緒に参加された方は皆さんとても意欲的に取り組んでおり、非常に感心しました。私も後日職場にて、今回の活動概要を写真等を添えて説明したところ、改めて関心を持っていただく方もおりました。今後もこのような活動を通じて、相模原の大切な自然を守っていかねばいけないと感じました。

三菱重工業(株) 小川

実施日：令和6年10月11日（金） 場所：市内6河川8地点（4地点調査実施できず）
参加役員：三菱重工業(株)、(株)ニコン、(株)オハラ、カヤバ(株)、プライムデリカ(株)、三友プラントサービス(株)、東プレ(株)、三菱電機(株)



会員向け啓発事業

■ 令和6年度 先進事例等視察

令和6年11月5日（火）に14社、事務局を含めた総勢21名の参加にて、「三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)」、及び「東急建設(株)技術研究所」の2社を環境保全先進事例として視察しました。

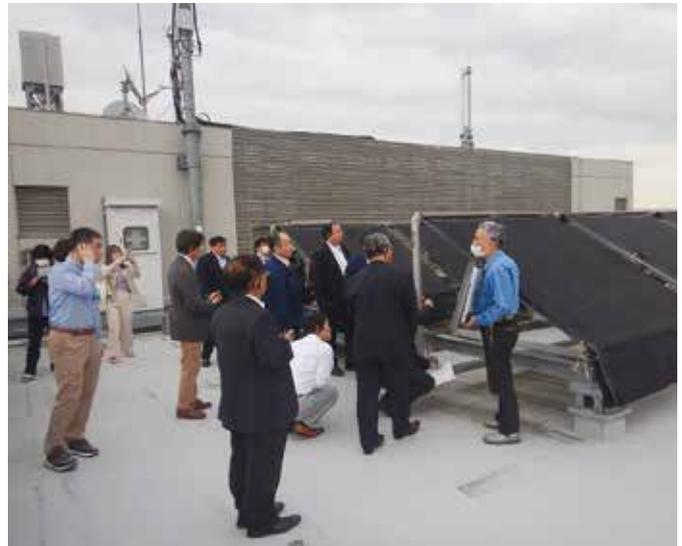
三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)では脱炭素の取組として自社製の水素発電設備の実証試験を行う他、自家発電用分散型電源設備や太陽光、蓄電池を用いた分散型電源設備を構築、広範な生産プラントにおいてオフグリッドでの自立給電システムが成立していることに大変感銘を受けました。同社は2050年のゼロカーボンを持たず、2040年にクリアする目標を設定しているとのこと。

東急建設(株)技術研究所では既存建物におけるZEB化に関する技術力の蓄積を図りながら研究所全体の省エネ・創エネに取り組んでおりました。外断熱化、自然換気、放射空調システムに加え、熱利用が想像以上に効率を高めていることに驚きました。

また水素貯蔵発電システムにも取り組んでおり、エネルギーのピークカットを図っている点にも感銘を受けました。

今回、2社の視察を通じ、水素発電の技術がすぐそこにあること、省エネには熱利用がとても有効であることを改めて実感する機会となりました。

東京電力パワーグリッド(株) 服部



実施日：令和6年11月5日（火） 参加者：会員14社17名
視察先：三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社、東急建設株式会社 技術研究所

■ 令和6年度 環境セミナー

「資源循環を踏まえた脱炭素社会に向けたごみ処理の今後の展望と課題」

市内事業者の環境に関する取組促進を図るため、一般財団法人 日本環境衛生センターより講師をむかえ、資源循環に関する最新の動向等を踏まえた脱炭素社会に向けた取組についてセミナーを開催しました。

実施日：令和7年2月19日（水）
会場：エコパークさがみはら
オンライン併用（Webinarを使用）
参加者：現地会場24名、オンライン18名（最大同時接続数）
講師：一般財団法人 日本環境衛生センター



広報事業

■ 会報「かんきょう四季」の発行

会報「かんきょう四季」は、会員、県内水質保全団体、県、市、その他多くの方々に、会の活動状況を広く知っていただくために毎年発行しています。令和6年4月発行の第39号では各事業の活動報告の他、過年度からの継続実施を行っている河川生物相調査報告等を掲載しています。今後も役立つ情報の発信に進めてまいります。



発行月: 令和6年4月 発行部数: 250部
配布先: 会員・関係機関等

■ ホームページ

スマートフォンからも閲覧しやすいデザインで、当会の情報を発信しています。

当会の活動やイベント情報のほか、事業者向けの補助金やセミナー情報等も掲載しておりますので、是非、ご活用ください。

「相模原の環境をよくする会 HP <https://www.yokusurukai.jp/>」



■ SNS (X (旧 Twitter)) による発信

環境情報発信やイベント開催の手段として開設している本会の X (旧 Twitter) を令和6年6月より市のマスコットキャラクター「さがみん」の公式 X アカウント『エコさがみん | 相模原公式』に統合しました。

当会の活動や会員の皆様の取組等の情報発信を行ってまいりますので、是非フォローをお願いいたします。

X アカウント: エコさがみん | 相模原市公式@ecosagamin

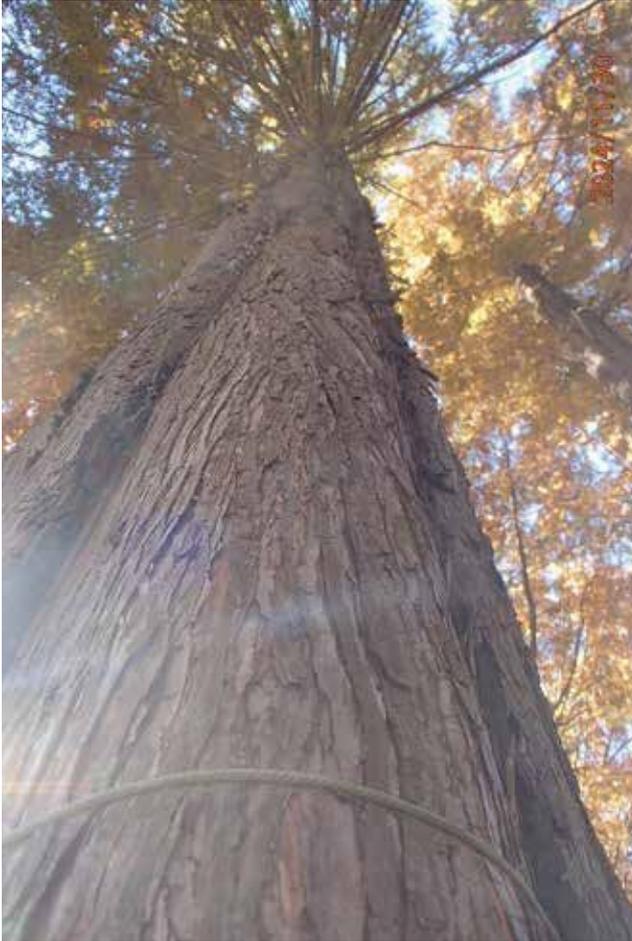


X (旧 Twitter)

■『フォト投稿キャンペーン』

SNSのハッシュタグ『#相模原の環境をよくするフォト』を活用した写真投稿キャンペーンを通年で開催しました。今後もハッシュタグ『#相模原の環境をよくするフォト』を活用して環境に関する写真を募集するとともに会の活動等を発信していきます。

応募作品（一部抜粋）



撮影者：ふーちゃん♡☆さん



撮影者：夢結さん



撮影者：沖 久典さん



撮影者：村松 康秀さん

その他の運営・活動記録

役員会の開催

(1) 第1回役員会

開催日：令和6年4月16日（火）

- 議 題：1. 令和6年度 役員（案）について
2. 令和5年度事業報告及び収支決算について
3. 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について
4. 令和6年度総会について

(2) 第2回役員会

開催日：令和6年9月30日（月）

- 議 題：1. 令和6年度上半期事業報告及び下半期事業予定について
2. 文書の廃棄について
3. 会則の改正について
4. 40周年記念事業について

(3) 第3回役員会

開催日：令和7年2月19日（水）

- 議 題：1. 令和6年度事業報告について
2. 会則の改正について
3. 河川生物相調査の見直しについて
4. ホームページ改修及び会員の取組情報発信について
5. 40周年記念事業について
6. 令和7年度事業計画案及び予算案について
7. 役員の改選について
8. 令和7年度総会及び感謝状贈呈対象者について



河川生物相調査結果報告書

結果報告者



(株)ニコン
山田 秀信



東プレ(株)
中島 久雄



三菱電機(株)
渡部 一浩

1. はじめに

本調査は、当会の前身体である「河川をきれいにする協議会」の中から調査部員が募られ、昭和51年から開始したものである。当初、境川5地点で始まった本調査は、その後、調査員の交替、調査地点の変更等を経て、49年目を迎えた現在、市内6河川8地点で春と秋の年2回実施している。

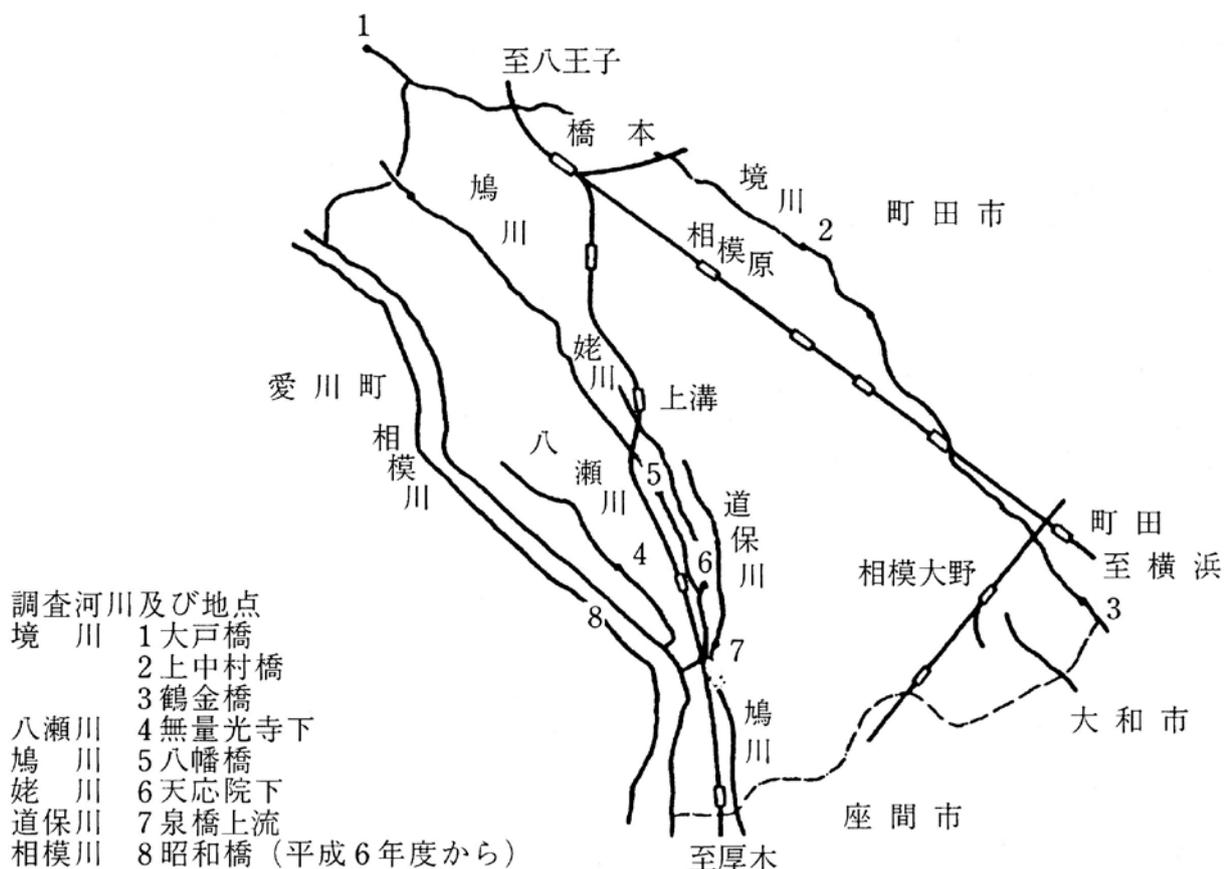
令和6年度は、5月24日と10月11日に調査を実施した。以下、調査結果を報告する。

2. 生物相調査の実施

河川の水質調査の方法としては、BOD、CODなどの理化学的調査の他に、汚濁の進行に応じて水生生物の生息範囲が限られてくることを利用した生物学的な水質調査がある。

この方法は、比較的簡易な方法であること、市民の方々にも親しみが持ちやすい等の利点があり、本会としても河川浄化啓発活動の一環として取り入れてきた。

3. 調査河川と調査結果



境川水系

調査地点	①大戸橋		②上中村橋		③鶴金橋	
	5/24	10/11	5/24	10/11	5/24	10/11
気温 ℃	26	19	29		28	26
水温 ℃	17	17.5	21		12	19
pH 試験紙	7.0	7.0	7.0		7.0	7.0
にごり	なし	なし	あり		なし	なし
臭気	なし	なし	なし		なし	なし
水深 cm	10	10	40		25	40
川幅 m	2	4.5	5		10	6
河床	小石と砂	こぶし大の石	こぶし大の石		こぶし大の石・小石と砂	こぶし大の石
流速 sec / 5m	8	16	9		8.3	4

水量が多いため調査できず

大戸橋（境川）

大戸橋は、南高尾山稜の東側の草戸山を源流とする境川の最上流に位置しており、周囲を森林に囲まれた河床がきれいな小川に架かる小さな橋である。

5月の調査では、水質階級はos（きれいな所）を維持、優占種はカゲロウであった。その他の指標生物は、ヤゴ、プラナリア、ホシチョウバエで、指標生物以外ではカワエビが確認された。

10月の調査では、水質階級はos（きれいな所）を維持、優占種は昨年調査ではカゲロウであったが今回調査ではヤゴでイトトンボのヤゴが多く確認された。その他の指標生物はサワガニ、カゲロウ、トビケラ、カワニナで、指標生物以外ではカワエビ、アジメドジョウを確認した。

今年度調査では水質階級はos（きれいな所）と昨年と変わらず水質が維持されていることが確認できた。

上中村橋（境川）

上中村橋は、神奈川県と東京都の境界近くに位置し、周辺には宮下工業団地や米軍相模補給廠などがある。

5月の調査では、水質階級はβm（ややきれいな所）となった、優占種はカゲロウであった。その他の指標生物はヤゴ、サカマキガイで、指標生物以外ではカワエビ、アメンボ、魚が確認された。昨年確認されなかったサカマキガイにより評価点がos（きれいな所）とam（やや汚れた所）で同点となり、中間評価となるβm（ややきれいな所）となった。

10月の調査は、増水により護岸の際で水深40cm程であったため中止となった。

今年度の水質階級の判定は、5月調査時のβm（ややきれいな所）と昨年のos（きれいな所）と比較し水質が低下した結果となり、一過性のものは引き続き調査が必要と考える。

鶴金橋（境川）

境川は東京都と神奈川県の県境に流れる河川であり、境川の調査地点は三つあるが、鶴金橋はその中で最も下流に位置し、周囲は住宅街に面している。

5月度の調査では水質階級が「OS」（きれい）であったが、昨年の5月度では「am」（やや汚れ）だったため、2段階改善した。優占種はカゲロウで、プラナリア、ヤゴの3種の指標生物が確認された。昨年の5月に確認されたシジミ、ヒル、ホシチョウバエは今回確認されなかった。その他の生物としてエビが確認された。

10月度の調査では、水質階級は昨年の10月度と同じく「am」（やや汚れ）であった。優占種はヒルで、その他の指標生物は確認されなかった。その他の生物としてチョウバエと多数のエビが確認された。

この地点は平成21年から令和4年までおおむね「OS」（きれい）を維持しており、時折「 β m」（ややきれい）になる状態が続いていたが、令和5年の5月度、10月度の調査で「 α m」（やや汚れ）の結果となっている。今年、5月度の調査では「OS」（きれい）という結果だったものの、10月度の調査では昨年と同じく「 α m」（やや汚れ）であり、悪化傾向にある。

相模川水系

調査地点	①無量光寺下		②八幡橋		③天応院下		④泉橋上流		⑤昭和橋		
	5/24	10/11	5/24	10/11	5/24	10/11	5/24	10/11	5/24	10/11	
気温 ℃	22	19.5	22		26		26.5	21	27		
水温 ℃	8.8	16.3	17.5	草が生い茂っており、 水量も多いため調査できず	10	水量が多いため調査できず	10	16	18.5	水量が多いため調査できず	
pH 試験紙	7.0	7.0	7.0		7.0		7.0	7.0	7.0		
にごり	なし	なし	なし		なし		なし	なし	なし		なし
臭気	なし	なし	なし		なし		なし	なし	なし		なし
水深 cm	50	30	20		25		20	50	40		
川幅 m	2	1.8	4	5	4	4	20				
河床	こぶし大の石	頭大の石・こぶし大の石	頭大の石・こぶし大の石		頭大の石・こぶし大の石		頭大の石・こぶし大の石	こぶし大の石	こぶし大の石		
流速 sec/5m	11	8.5	12		11.46		6.93	8.5	11		

無量光寺下（八瀬川）

八瀬川は相模原市を流れる延長約5kmの中小河川であり、上田名付近の田名堀之内にある「大杉の池」に源を発し、陽原段丘を西から東に流れ、麻溝地区の「三段の滝」上流で一級河川相模川と合流する。調査地点は、八瀬川の下流に位置し、近年開通した圏央道の相模原愛川ICの近くでもあるが自然環境が比較的保たれている場所である。河川状況は、川幅2.5mほどの小川であり河床は小石や砂利で両岸は土となっている。

5月の調査では、水質が α s（きれいな所）を維持していることが確認できた。

優占種はカゲロウ、指標生物としてはこの他に、カワニナ、サワガニ、ヤゴ、ヘビトンボ、トビケラの計6種が確認され、また指標生物以外ではカワエビが多数見られた。

10月の調査では、水質が β m（ややきれいな所）となり、1階級低下していることが確認できた。

優占種はカゲロウ、指標生物としてはこの他に、カワニナ、シジミ、ヒル、ヤゴの計5種が確認され、また指標生物以外ではカワエビが多数見られた。

近年、このポイントでは α sを継続していたが、10月の調査では、従来よく見られていた、清流を代表するサワガニが皆無で、その代わりに従来見られなかった、汚れた所を好むヒルが確認されているため、今後の推移を注意深く観察する必要がある。

八幡橋（鳩川）

鳩川は内出橋下流端に源を発し、上九沢・上溝地区等を経て下溝地区で姥川・道保川と合流し、また中流の磯部付近で鳩川分水路・鳩川隧道分水路によって上流域の水を相模川へ放流している。調査地点は鳩川の中流域の上溝地区に位置し、周辺は住宅地になっている場所である。河川状況は両岸コンクリートブロックに覆われているが、河床は砂利や小石になっており一部自然河川に近い状況である。

5月の調査では、水質が α s（きれいな所）を維持していることが確認できた。

優占種はトビケラ、指標生物としてはこの他に、アセラス、ヨコエビ、サワガニ、カゲロウ、ヤゴの計6種が確認され、また指標生物以外ではカワエビが多数見られた。

10月の調査では周辺に大型の雑草が生い茂っており、また水量も多かったため川に入ることができず調査

を断念した。

このポイントは数十年前には α m (ややよごれた所) から β p (よごれた所) であったが、最近の十数年で大きく改善が進み、令和1年の特異点を除けば、近年はきれいな状態が維持できていると言える。

天応院下 (姥川)

姥川は、相模原市緑区下九沢から中央区上溝にかけて位置する段丘崖の湧水を源として、横山丘陵の山際を流れ、下溝地内の天応院付近で鳩川と合流する、延長約6.5kmの河川である。調査地点の河川状況は、護岸および河床がコンクリートで覆われているが、一部には頭大の石や小石、砂が混ざり、自然河川に近い状態となっている。

5月度の調査における水質階級は、昨年と同時期と同じ「OS」(きれい)であった。優占種はトビケラで、カゲロウ、プラナリア、シジミ、アセラス、ヨコエビの57種の指標生物が確認された。昨年5月に確認されていたヤゴは今回見られなかった。その他の生物として、エビ多数とアメンボ、魚を確認した。

10月度は、調査前日に降った雨による増水と草木の繁茂により、調査を実施することができなかった。

この地点では、平成17年から現在に至るまで、概ね「OS」(きれい)と「 β m」(ややきれい)の間を行き来している。

泉橋上流 (道保川)

道保川は湧水を水源とし、河川周辺は公園などに整備されている。道保川公園は、環境省の「残したい日本の音風景100選」に選ばれており、自然豊かな環境に位置している。

5月度の調査では、水質階級は近年と同様に「OS」(きれい)を維持した。優占種はカゲロウであり、プラナリア、カワニナ、イトミミズ、アセラス、サワガニ、ヤゴの7種の指標生物が確認された。昨年5月に確認されたトビケラや赤ユスリカは今回確認されなかったが、昨年5月に確認されなかったプラナリアとサワガニが今回は確認された。その他の生物としてエビが確認された。

10月度の調査でも、水質階級は近年と同様に「OS」(きれい)を維持した。優占種はヤゴであり、カワニナ、イトミミズ、ヨコエビ、カゲロウの5種の指標生物が確認された。昨年10月に確認されたプラナリアは今回確認されなかったが、昨年10月に確認されなかったヨコエビが今回は確認された。その他の生物として、エビや多数のアメンボ、ドンコが確認された。

この地点では、平成23年以降おおむね「OS」(きれい)が維持されており、非常に良好な状態にあると考えられる。

昭和橋 (相模川)

相模川は富士山麓・山中湖や忍野八海に源を発し、富士山北麓の水を集めながら山梨県大月市で笹子川と合流し、相模湖と津久井湖の二つのダム湖を経て相模原市域を流れて相模湾に注ぐ全長109kmの一級河川である。水道水・農業用水として用いられているほか、河川敷は市民や他から訪れる人達の憩いの場として利用され、潤水都市さがみはらの母なる川として親しまれている。調査地点は、昭和橋下流の広大な本川のやや浅瀬にあり、頭大の石や小石、砂が混在する場所である。

5月の調査では、水質が os (きれいな所) であり、昨年10月の β m からやや改善されたことが確認できた。

優占種はトビケラ、指標生物としてはこの他に、カゲロウ、カワゲラ、ヘビトンボの計4種が確認され、また指標生物以外では稚魚やアメンボウが見られた。

10月の調査では水量が多く、川に入ることができなかったため調査を断念した。

このポイントは従来から os と β m を行き来しており、近年では os の確率が高くなっているものの、相模川の本流であるため降雨等の影響を受けやすく、流速や水量の変化が大きいことが変動要因だと推測している。

令和6年度 河川生物相調査結果一覧表 - 境川水系 -

門	綱(類)	目	科	指標生物名	水質階級					境川					
					os	βm	αm	βp	αp	大戸橋		上中村橋		鶴金橋	
					5月	10月	5月	10月	5月	10月					
扁形動物門	渦虫綱	三岐腸目	ブラナリア科	ブラナリア	■	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—
軟体動物門	複足綱	中腹足目	タニシ科	タニシ	■	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—
			カワニナ科	カワニナ	■	■	■	■	■	—	—	—	—	—	
		基眼目	モノアラガイ科	モノアラガイ	■	■	■	■	■	—	—	—	—	—	
			サカマキガイ科	サカマキガイ	■	■	■	■	■	—	—	—	—	—	
二枚貝綱	異齒目	ヤマトシジミガイ科	シジミ	■	■	■	■	—	—	—	—	—			
環形動物門	鬚毛綱	原始鬚毛目	イトミミズ科	イトミミズ	■	■	■	■	—	—	—	—	—		
ヒル綱	ヒル	ヒル	ヒル	■	■	■	■	—	—	—	—	—			
節足動物門	甲殻綱	等脚目	ミズムシ科	アセラス	■	■	■	■	—	—	—	—	—		
			ヨコエビ科	ヨコエビ	■	■	■	■	—	—	—	—	—		
	十脚目	ザリガニ科	アメリカザリガニ	■	■	■	■	—	—	—	—	—			
		サワガニ科	サワガニ	■	■	■	■	—	—	—	—	—			
	昆虫綱	蛭蟻目	カゲロウ	カゲロウ	■	■	■	■	+++	+++	+++	+++	+++		
			ヤゴ	ヤゴ	■	■	■	■	+++	+++	+++	+++	+++		
		複翅目	カワゲラ	カワゲラ	■	■	■	■	—	—	—	—	—		
			タイコウチ科	タイコウチ	■	■	■	■	—	—	—	—	—		
		脈翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	■	■	■	■	—	—	—	—			
		毛翅目	トビケラ	トビケラ	■	■	■	■	—	—	—	—			
		双翅目	アミカ科	アミカ	■	■	■	■	—	—	—	—	—		
			ガガンボ科	ガガンボ	■	■	■	■	—	—	—	—	—		
			チョウバエ科	ホシチョウバエ	■	■	■	■	—	—	—	—	—		
			ブユ科	ブユ	■	■	■	■	—	—	—	—	—		
	ユスリカ科		赤ユスリカ	■	■	■	■	—	—	—	—	—			
	襀翅目	シギアブ科	シギアブ	■	■	■	■	—	—	—	—	—			
		ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	■	■	■	■	—	—	—	—	—			
ミズスマシ科		ミズスマシ	■	■	■	■	—	—	—	—	—				
ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ	■	■	■	■	—	—	—	—	—					
月別採取生物種数					4	5	3	—	3	1					
地点別採取生物種数					9	—	3	—	4	—					
判定					OS	OS	βm	—	OS	am					

水量が多いため調査できず

水質階級: OS きれいな所 βm ややきれいな所 αm ややよごれた所 ■ : その生物がすむことのできる範囲を示す
βp よごれた所 αp たいへんよごれた所 個体数 — ・・・ わずか (5以下) ++ ・・・ 中位 (6~15) +++ ・・・ 多い (16以上)

令和6年度 河川生物相調査結果一覧表 - 相模川水系 -

門	綱(類)	目	科	指標生物名	水質階級					八瀬川		鳩川		総川		道保川		相模川	
					os	βm	αm	βp	αp	無蓋光亭下		八幡橋		天応院下		泉種上流		昭和橋	
					5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月	5月	10月			
扁形動物門	渦虫綱	三岐腸目	ブラナリア科	ブラナリア	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
軟体動物門	複足綱	中腹足目	タニシ科	タニシ	■	■	■	■	+++	+++	—	—	—	—	—	—	—	—	
			カワニナ科	カワニナ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		基眼目	モノアラガイ科	モノアラガイ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—	—	—			
			サカマキガイ科	サカマキガイ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—	—	—			
二枚貝綱	異齒目	ヤマトシジミガイ科	シジミ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—	—					
環形動物門	鬚毛綱	原始鬚毛目	イトミミズ科	イトミミズ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—					
ヒル綱	ヒル	ヒル	ヒル	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—						
節足動物門	甲殻綱	等脚目	ミズムシ科	アセラス	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—					
			ヨコエビ科	ヨコエビ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—					
	十脚目	ザリガニ科	アメリカザリガニ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—						
		サワガニ科	サワガニ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—						
	昆虫綱	蛭蟻目	カゲロウ	カゲロウ	■	■	■	■	+++	+++	+++	+++	+++	+++					
			ヤゴ	ヤゴ	■	■	■	■	+++	+++	+++	+++	+++	+++					
		複翅目	カワゲラ	カワゲラ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—					
			タイコウチ科	タイコウチ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—					
		脈翅目	ヘビトンボ科	ヘビトンボ	■	■	■	■	—	—	—	—	—						
		毛翅目	トビケラ	トビケラ	■	■	■	■	—	—	—	—	—						
		双翅目	アミカ科	アミカ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—					
			ガガンボ科	ガガンボ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—					
			チョウバエ科	ホシチョウバエ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—					
			ブユ科	ブユ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—					
	ユスリカ科		赤ユスリカ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—						
	襀翅目	シギアブ科	シギアブ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—						
		ゲンゴロウ科	ゲンゴロウ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—						
ミズスマシ科		ミズスマシ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—							
ヒラタドロムシ科	ヒラタドロムシ	■	■	■	■	—	—	—	—	—	—								
月別採取生物種数					6	5	6	—	7	—	7	5	4	—					
地点別採取生物種数					11	—	6	—	5	—	12	—	4	—					
判定					OS	βm	OS	—	OS	—	OS	OS	OS	—					

草が生い茂っており、水量も多いため調査できず

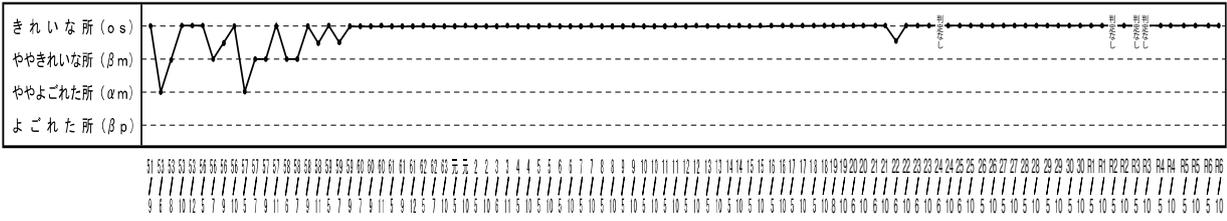
水量が多いため調査できず

水量が多いため調査できず

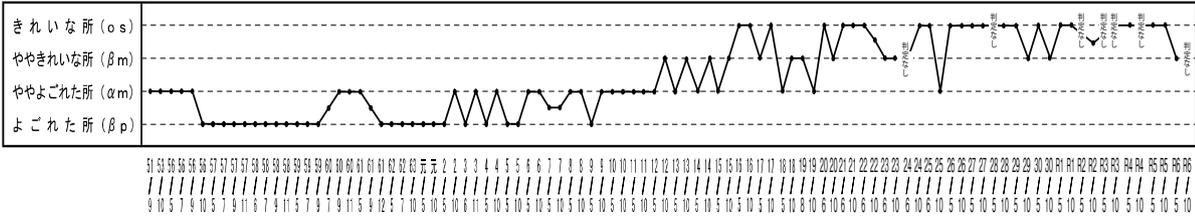
水質階級: OS きれいな所 βm ややきれいな所 αm ややよごれた所 ■ : その生物がすむことのできる範囲を示す
βp よごれた所 αp たいへんよごれた所 個体数 — ・・・ わずか (5以下) ++ ・・・ 中位 (6~15) +++ ・・・ 多い (16以上)

河川生物相調査水質判定経年変化

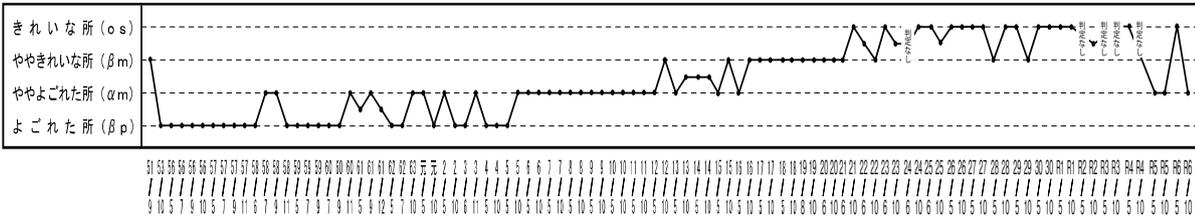
大戸橋（境川）



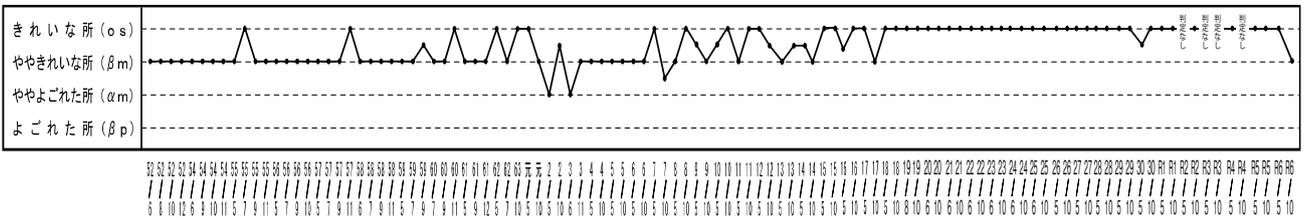
上中村橋（境川）



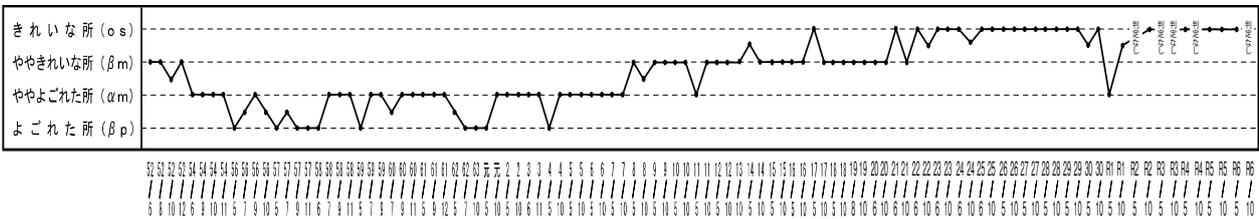
鶴金橋（境川）



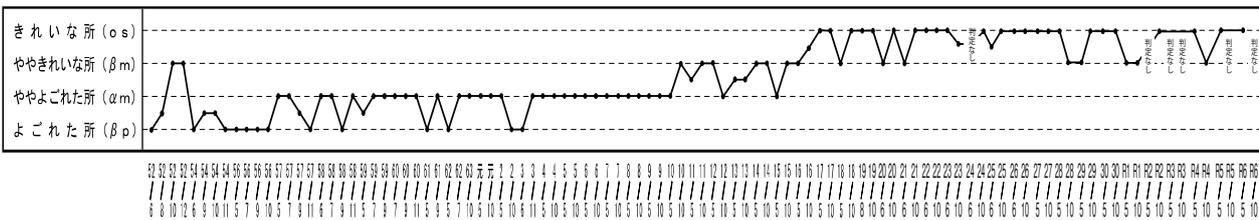
無量光寺下（八瀬川）



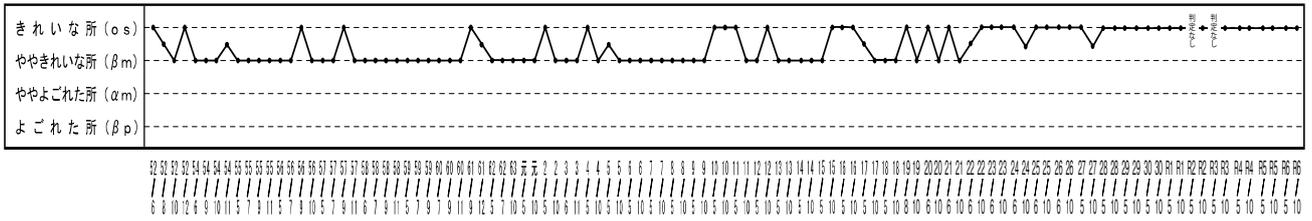
八幡橋（鳩川）



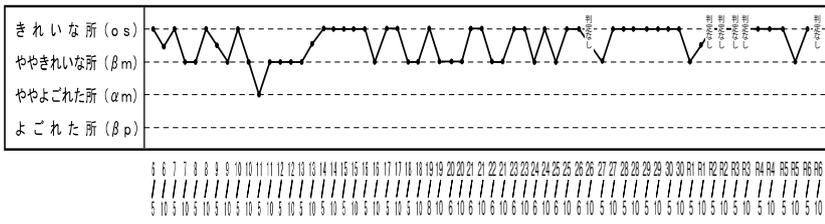
天応院下（姥川）



泉橋上流(道保川)



昭和橋 (相模川)



役員名簿

令和7年4月現在

役職	会社名	代表者氏名	所在地
会長	三菱重工業(株) 相模原製作所	竹内 昌夫	中央区田名3000
副会長	(株)ニコン 相模原製作所	若林 孝	南区麻溝台1-10-1
理事	アイダエンジニアリング(株)	鈴木 利彦	緑区大山町2-10
理事	(株)オハラ	齋藤 弘和	中央区小山1-15-30
理事	東京ガス(株) 神奈川西支店	中嶋 豊	南区相模大野5-8-18
理事	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	荒川 雅昭	中央区千代田6-12-25
理事	カヤバ(株) 相模工場	井関 俊道	南区麻溝台1-12-1
理事	大和製罐(株) 東京工場	松岡 進	緑区西橋本5-5-1
理事	(一財) 生物科学安全研究所	山本 実	緑区橋本台3-7-11
理事	プライムデリカ(株)	齊藤 正義	南区麻溝台1-7-1
理事	東急建設(株) 技術研究所	井上 諭	中央区田名3062-1
理事	三友プラントサービス(株)	小松 源	緑区橋本台1-8-21
理事	SWCC(株) 相模原事業所	野口 一朗	中央区南橋本4-1-1
理事	スリーエムジャパンイノベーション(株) 相模原事業所	河合 貴之	中央区南橋本3-8-8
理事	東ブレ(株) 相模原事業所	井坂 守	中央区南橋本3-2-25
理事	日産自動車(株) 相模原部品センター	瓜生 巖太郎	南区麻溝台1-4-1
理事	日本板硝子(株) 相模原事業所	谷口 敏	緑区西橋本5-8-1
理事	峡の原工業団地協同組合	萩原 隆志	緑区橋本台3-4-20
監事	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	佐藤 清孝	中央区宮下1-1-57
監事	日本山村硝子(株) 東京工場	前田 和也	緑区大山町3-45

会 員 名 簿

工場・事業所

令和7年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	アイダエンジニアリング(株)	鈴木 利彦	緑区大山町2-10
2	(株)アクア	中村 朋宏	南区大野台2-26-10
3	井上醤油(株)	井上 久雄	緑区大島1048
4	岩谷瓦斯(株) 相模原プラント	坂井 洋三	南区麻溝台1-10-1 (ニコソ内)
5	SWCC(株) 相模原事業所	野口 一朗	中央区南橋本4-1-1
6	(株)奥村組 東京支店 橋本営業所	伊藤 淳	緑区橋本3-25-1 橋本 MN ビル1F
7	尾崎理化(株) 本社	尾崎 勲	緑区根小屋1888
8	(株)オハラ	齋藤 弘和	中央区小山1-15-30
9	オルガノ(株) 開発センター	江口 正浩	南区西大沼4-4-1
10	鹿島道路(株) 相模合材製作所	福本 憲秀	南区新戸983
11	(株)金井産業	金井 雅人	中央区田名5977
12	カヤバ(株) 相模工場	井関 俊道	南区麻溝台1-12-1
13	(株)河坂製作所	田坂 智	中央区田名3670
14	関東宇部コンクリート工業(株) 相模原工場	桃澤 岳徳	中央区宮下2-17-1
15	菊屋浦上商事(株)	浦上 裕生	中央区相模原6-26-7
16	(株)ケミックス	田中 勉	中央区田名塩田1-14-2
17	興建産業(株)	永吉 哲郎	中央区田名塩田4-19-21
18	権田金属工業(株)	権田 有紀子	中央区宮下1-1-16
19	サガミ計測(株)	蒔田 建	中央区小町通1-2-4
20	(株)相模原ゴルフクラブ	井上 直樹	南区大野台4-30-1
21	(株)サンコーシヤ 相模テクノセンター	似内 稔	中央区宮下1-1-12
22	三友プラントサービス(株)	小松 源	緑区橋本台1-8-21
23	(株)三菱商事	和田 吉隆	緑区橋本台1-14-13
24	J A全農ミートフーズ(株) 神奈川工場	深町 拓彌	中央区上溝1856
25	(株)シノテスト	塚田 聡	南区大野台5-16-41
26	(株)昭和真空	小俣 邦正	中央区田名3062-10
27	新相模酸素(株) 相模原工場	内城 保	中央区宮下2-14-3
28	ステイ電子機器(株)	志田 正秀	中央区宮下3-13-11
29	スリーエムジャパンイノベーション(株) 相模原事業所	河合 貴之	中央区南橋本3-8-8
30	スリーボンドファインケミカル(株)	土田 耕作	緑区大山町1-1
31	世紀東急工業(株) 相模原再生工場	田中 彰彦	中央区田名2500-1
32	セントラル総合サービス(株)	井上 善勝	緑区西橋本3-10-30
33	総合銘板工業(株)	田中 桂之介	中央区宮下3-11-14
34	第一コンクリート(株) 相模原工場	高橋 一	中央区南橋本4-2-27
35	大栄フーズ(株)	岡 康人	南区相武台2-5-30
36	タイヨー印刷(株)	長田 功	中央区上溝4-9-10
37	大和製罐(株) 東京工場	松岡 進	緑区西橋本5-5-1
38	竹内貴金属工業(株)	竹内 忠夫	中央区南橋本3-9-17
39	田辺プラスチック機械(株) 相模原工場	渡邊 勲	南区北里2-30-11
40	津久井湖観光(株)	田原 憲和	緑区三ヶ木492
41	東栄電化工業(株)	山本 茂樹	中央区小町通2-5-9
42	東急建設(株) 技術研究所	井上 諭	中央区田名3062-1
43	東京化学塗料(株)	藤原 賢一	中央区淵野辺1-21-23
44	東京ガス(株) 神奈川西支店	中嶋 豊	南区相模大野5-8-18

会 員 名 簿

工場・事業所

令和7年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
45	東京電力パワーグリッド(株) 相模原支社	荒 川 雅 昭	中央区千代田6-12-25
46	東京特殊印刷工業(株)	寺 岡 健 郎	南区大野台2-12-6
47	東京メタルパック(株)	藤 橋 勝 治	中央区南橋本3-2-25
48	東京ライト工業(株) 相模原工場	崎 村 孝 陽	緑区根小屋1787-1
49	東ブレ(株) 相模原事業所	井 坂 守	中央区南橋本3-2-25
50	(株)戸田ゴルフクラブ	門 坂 治 雄	緑区長竹1838
51	TOPPAN インフォメディア(株) 相模原工場	前 屋 隆 雄	南区大野台2-29-20
52	(株)ニコン 相模原製作所	若 林 孝	南区麻溝台1-10-1
53	(有)西浦塗装工業所	西 浦 佐知子	中央区淵野辺2-18-15
54	日産自動車(株) 相模原部品センター	瓜 生 巖太郎	南区麻溝台1-4-1
55	日鉄ドラム(株) 相模原工場	紅 谷 徹	緑区西橋本5-7-1
56	日本板硝子(株) 相模原事業所	谷 口 敏	緑区西橋本5-8-1
57	日本化工機材(株)	大 澤 浩一郎	中央区淵野辺1-20-8
58	日本ゼトック(株) 相模原事業所	小 林 年 成	緑区大山町1-5
59	日本電子工業(株) 相模原工場	竹 内 博 次	中央区宮下3-10-14
60	日本トーカンパッケージ(株) 相模原工場	藤 山 秀 男	南区麻溝台1-4-50
61	日本山村硝子(株) 東京工場	前 田 和 也	緑区大山町3-45
62	(有)早川銘板製作所	早 川 正 彦	中央区田名3039-17
63	日立建機日本(株) 西関東支店 相模営業所	船 野 敦 紀	中央区淵野辺2-5-8
64	福田道路(株) 相模原合材工場	林 宏 至	中央区田名3385-1
65	富士工業(株)	柏 村 浩 介	中央区淵野辺2-1-9
66	プライムデリカ(株)	齊 藤 正 義	南区麻溝台1-7-1
67	ペンニットー(株)	長 内 康 一	中央区南橋本4-5-13
68	(株)宝月堂文具店	佐 藤 幸 一	中央区淵野辺3-19-9
69	マルマテクニカ(株) 相模原事業所	中 村 政 治	南区大野台6-2-1
70	美鈴紙業(株) 東京事業所	長谷川 和 也	緑区橋本台3-1-12
71	三菱重工業(株) 相模原製作所	竹 内 昌 夫	中央区田名3000
72	三菱電機(株) 鎌倉製作所 相模事務所	佐 藤 清 孝	中央区宮下1-1-57
73	ミヤジフーズ(株)	宮 地 俊 二	南区古淵5-6-16
74	モリマーマテックス(株)	安 田 寿 之	緑区橋本台1-26-6
75	(株)ヤマダコーポレーション	山 田 幸太郎	中央区宮下1-2-38
76	(株)ヤマダメタルテック	石 井 正 信	緑区西橋本3-12-9
77	(株)ヤマテコーポレーション	麻 生 敬 三	中央区田名3879
78	(株)ユニックス	平 田 徹	南区麻溝台6-17-6
79	ユニリーバ・ジャパン(株) 相模原工場	村 井 英 匡	南区大野台2-14-1
80	(株)ライト	佐々木 亮 一	中央区中央5-9-10
81	リバー(株)	松 岡 直 人	緑区西橋本3-10-14
82	ロンザ(株) 相模原事業所	小 林 亨	中央区南橋本4-3-36

会 員 名 簿

公共事業所等

令和7年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	(学)青山学院大学 相模原キャンパス	鴨志田 壽 生	中央区淵野辺5-10-1
2	(学)麻布獣医学園	山 口 雄 弘	中央区淵野辺1-17-71
3	(学)和泉短期大学	須 田 拓	中央区青葉2-2-1
4	神奈川県水産技術センター内水面試験場	小 川 砂 郎	緑区大島3657
5	(一財)北里環境科学センター	山 田 陽 城	南区北里1-15-1
6	(学)北里研究所	浅 利 靖	南区北里1-15-1
7	相模原機械金属工業団地協同組合	阿 部 仁	緑区橋本台2-7-28
8	相模原市農業協同組合 本店	落 合 幸 男	中央区千代田1-2-17
9	(学)女子美術大学	福 下 雄 二	南区麻溝台1900
10	(一財)生物科学安全研究所	山 本 実	緑区橋本台3-7-11
11	峡の原工業団地協同組合	萩 原 隆 志	緑区橋本台3-4-20

賛助会員

令和7年4月現在

No.	会 社 名	代表者氏名	所 在 地
1	NPO法人 かながわ環境カウンセラー協議会 相模原支部	古 屋 伸 夫	南区東林間1-25-10-210
2	相模原市ゼロカーボン推進課	市 橋 剛 輝	中央区中央2-11-15
3	相模原市自治会連合会	竹 田 幹 夫	中央区富士見6-6-23
4	相模原市地域婦人団体連絡協議会	中牟田 好 江	中央区陽光台3-16-20
5	NPO法人 さがみはら地球温暖化対策協議会	竹 田 幹 夫	中央区富士見1-3-41

相模原の環境をよくする会会則

(名 称)

第1条 本会は、相模原の環境をよくする会と称し、事務局を相模原市役所内に置く。

(目 的)

第2条 本会は、環境保全活動に取り組む企業、団体が連携し、気候変動、生物多様性の損失及び汚染という地球的危機の克服に向けた取組を推進し、もって持続可能な社会の形成に寄与することを目的とする。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 環境の保全に関する情報共有及び発信
- (2) 研修会、講演会、視察等の実施
- (3) 環境の保全に係る啓発活動
- (4) 関係行政機関との連携及び協力
- (5) その他本会の目的を達成するために必要な事業

(会 員)

第4条 本会は、相模原市内にある工場、事業場等で、本会の目的に賛同し、かつ、役員会の承認を得たものをもって組織する。

2 会員は、別表の定めるところにより、会費を負担するものとする。

(賛助会員)

第5条 市内にある環境保全団体並びに市民団体等で、本会の目的に賛同し、かつ、役員会の承認を得たものを賛助会員とすることができる。

(役 員)

第6条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1 名
- (2) 副会長 1 名
- (3) 理 事 若干名
- (4) 監 事 2 名

(役員を選出)

第7条 本会の会長、副会長、理事及び監事は、総会で会員の中から選出する。

2 役員の前任期満了前における欠員補充は、会員が役員会の同意を得て、会員の中から選任する。

(役員の仕事)

第8条 会長は、会務を統括し、本会を代表する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長不在のときは、これを代行する。

3 理事は、会務を執行する。

4 監事は、会計を監査する。

(役員の前)

第9条 役員の前は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補充により就任した役員の前は、前任者の残任期間とする。

3 役員は、前が満了したときにおいても、後任者が就任するまで引き続きその職を行うものとする。

(事務局職員)

第10条 本会の事務局に次の職員を置く。

- (1) 事務局長 1名
- (2) 次 長 1名
- (3) 書 記 若干名

2 事務局職員は、会長が委嘱する。

3 事務局長は、会の庶務を統括する。

4 次長は、事務局長を補佐し、事務局長不在のときは、その職務を代行する。

5 書記は、会の庶務を処理する。

(名誉会長及び顧問)

第11条 本会に名誉会長及び顧問を置くことができる。

(会 議)

第12条 本会の会議は、総会及び役員会とする。

(総 会)

第13条 総会は、会員及び賛助会員をもって構成する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長がこれを招集する。

3 通常総会は毎年1回、臨時総会は会長が必要と認めるとき又は会員及び賛助会員の3分の1以上から請求があったとき、これを開くものとする。

4 総会の議長は、そのつど選出する。

5 総会は、次の事項を議決する。

- (1) 役員を選出にすること。
- (2) 事業計画及び事業報告にすること。
- (3) 予算及び決算にすること。
- (4) 会則の改廃にすること。
- (5) その他会長が必要と認める事項

(役員会)

第14条 役員会は、会長、副会長、理事及び監事をもって構成し、会長が招集する。

2 役員会の議長は、会長をもってこれにあてる。

3 役員会は、この会則の別の条項に定めるもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 総会で議決した事項の執行にすること。
- (2) 総会に提案すべき事項にすること。
- (3) 予算の補正にすること。
- (4) 総会で委任された事項にすること。
- (5) その他役員会において必要と認める事項

(会議の議決)

第15条 総会及び役員会は、構成員の2分の1以上の出席（委任状を含む。）がなければ議事を開き、議決することができない。

2 議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(経費)

第16条 本会の経費は、次の収入をもってこれにあてる。

- (1) 会費
- (2) 負担金
- (3) 補助金
- (4) その他の収入

(事業年度)

第17条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(委任)

第18条 この会則の施行について必要な事項は、会長が役員会の議決を経て別に定める。

附則

この会則は、昭和60年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成3年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成4年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成16年4月1日から施行する。

附則

この会則は、平成19年4月20日から施行する。

附則

この会則は、令和7年4月25日から施行する。

別 表

会費算定基準（第4条関係）

- 1 工場、事業場にあつては、次の表に定める資本金額及び従業員数により算出した合計点数に2,500円を乗じた額とする。

点数 区分	1	2	3	4	5	6	7	8
資本金額	5千万円 未満	5千万円 以上 1億円 未満	1億円 以上 3億円 未満	3億円 以上 5億円 未満	5億円 以上 10億円 未満	10億円 以上 50億円 未満	50億円 以上 100億円 未満	100億円 以上
従業員数 (人)	10 未満	10 以上 50 未満	50 以上 100 未満	100 以上 500 未満	500 以上 1,000 未満	1,000 以上 1,500 未満	1,500 以上 2,000 未満	2,000 以上

- 2 公共事業所（相模原市役所を除く。）その他これに類する事業場一律10,000円を会費とする。
- 3 相模原市役所は200,000円を会費とする。

相模原の環境をよくする会細則

(入 会)

第1条 本会に入会しようとするものは、所定の入会申込書により申し込むものとする。

(退 会)

第2条 会員が退会しようとするときは、理由を付して届け出るものとする。

(変 更)

第3条 入会申込書に記載した事項のうち会長が必要と認める事項に変更があったときは、会員は、速やかに所定の変更届により届け出るものとする。

(会 費)

第4条 会費は年額とし、毎年5月1日から6月30日までに納入しなければならない。ただし、年度途中においての加入会員は、加入時期に応じ、月割りにより算出し、入会と同時に納入するものとする。

2 前項ただし書の規定により算出した額に100円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

3 既納の会費は、これを返還しない。

(負担金)

第5条 規定会費の他に特定の事業を行う場合、会長は、役員会の同意を得て、会員に対し負担金を請求することができる。

(名誉会長及び顧問)

第6条 名誉会長及び顧問は、会長が、役員会の同意を得て、委嘱するものとする。

2 名誉会長及び顧問の任期は、委嘱された日から、その日の属する年度の3月31日までとする。ただし、再任は妨げない。

(会 計)

第7条 本会の会計のうち、予算執行上の処理については、次のとおりとする。

(1) 予算の執行は、事務局長が行う。ただし、事務局長が認めるものは事務局次長が行えるものとする。

(2) 補正は次のとおりとし、役員会の決定を得て行うものとする。

ア 項及び目の設定又は廃止

イ 予算総額の10パーセント以上の支出を伴う予算額の変更

ウ 項間の予算額の移動で、当初計上した予算額の20パーセント以上を他の項に移動する場合

(3) 流用は次のとおりとし、事務局長の裁量で行うものとする。

ア 項間の予算額の移動で、補正に該当しない場合

イ 目間の予算額の移動

(4) 充当は、予備費を他の項及び目に使用する場合であり、事務局長の裁量で行うものとする。

(5) 契約の性質又は目的が競争に適しない契約をするときは随意契約によることができる。

(6) 契約の締結を行う場合においては、原則として2人以上から見積書を徴しなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合においては、1人の見積書の徴取で足りるものとする。

ア 契約の性質又は目的により契約の相手方を特定せざるを得ないとき。

イ 災害の発生等により緊急を要するとき。

ウ 予定価格が10万円以下のとき。

エ 前3号に掲げるもののほか、事務局長が2人以上から見積書を徴する必要がないと認めるとき。

(報 酬)

第8条 本会の役員及び事務局職員は、無報酬とする。

(文書管理)

第9条 本会の文書の保存期間は、別表のとおりとする。

2 保存期間が過ぎた文書は、速やかに廃棄するものとする。ただし、特に必要と認められる文書については、会長が役員会の同意を得て、保存期間を過ぎた後も保管することができる。

3 前項の規定により文書を廃棄するときは、役員会の決定を得なければならない。

4 個人情報が含まれる文書を廃棄するときは、廃棄後に情報が読み取れないように配慮しなければならない。

附 則

この細則は、昭和60年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成4年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成19年4月20日から施行する。

附 則

この細則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、平成29年11月7日から施行する。

附 則

この細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この細則は、令和7年4月25日から施行する。

別表（第9条関係）

文書の区分	保存期間
会則、細則及び規定 入会申込書 退会届 変更届 会員名簿 総会議事録(議案書を含む。) 役員会議事録 委託契約書類 会報(創刊号から)	常用
収入伺 支出命令書 銀行預金通帳	10年
総会及び役員会関係書類(他の区分に属するものを除く。) 事業関係書類(他の区分に属するものを除く。)	5年
その他軽易な文書	1年

備考 保存期間は、文書を作成し、又は取得した事業年度（契約期間のある契約書等一定期間効力を有する文書については、その期間の満了した事業年度）の次の事業年度の初日から計算するものとする。

表彰に関する規定

(趣 旨)

- 1 相模原の環境をよくする会（以下「本会」という。）の事業を通じて環境の保全・浄化に功労のあったものを表彰することに関して必要な事項を定める。

(表彰状及び感謝状の贈呈)

- 2 功労者には、次により表彰状又は感謝状を贈呈する。
 - (1) 環境の保全・浄化に功労のあった個人及び団体
 - (2) 本会の役員として10年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった役員会社
 - (3) 本会の役員として5年以上在職し、本会の事業の振興に功労のあった個人

(被表彰者の決定)

- 3 会長は、表彰状及び感謝状を贈呈しようとするときは、あらかじめ役員会の同意を得なければならない。

附 則

- 1 この規定は、昭和60年4月1日から適用する。
- 2 相模原の河川をきれいにする会及び相模原の青空を守る会の役員在職年数は、本会の役員在職年数とみなす。

附 則

この規定は、平成7年4月1日から適用する。

入会申込書

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地

名 称

代表者職氏名

貴会の目的及び会則に賛同して、下記により入会を申し込みます。

工場又は事業所名	
所 在 地	
資 本 金	
従 業 員 数	
担 当 者 氏 名	
担 当 者 所 属	
電 話 番 号	
Eメールアドレス	

※従業員数は、相模原市における工場又は事業所の人数をご記入ください。

変 更 届

年 月 日

相模原の環境をよくする会会長 殿

所在地 _____

名 称 _____

代表者職氏名 _____

電話番号 () _____

下記のとおり届け出ます。

【事業所関係】

	新	旧
名 称		
所 在 地		
電話番号		
E-mail		

【役員関係】

		所 属	役 職	氏 名	備 考
代表者	旧				
	新				
担当者	旧				
	新				

変更日 _____ 年 月 日 _____

(変更理由)

澄んだ水 あふれる緑 青い空 みんなで築こう相模原

(スローガン)

令和 7 年 4 月

相模原の環境をよくする会

事務局(相模原市 環境経済局 環境部 ゼロカーボン推進課)

TEL 042(769)8240

FAX 042(769)4445

印刷 タイヨー印刷(株) TEL 042(762)2157



澄んだ水あふれる緑青い空
みんなで築こう相模原